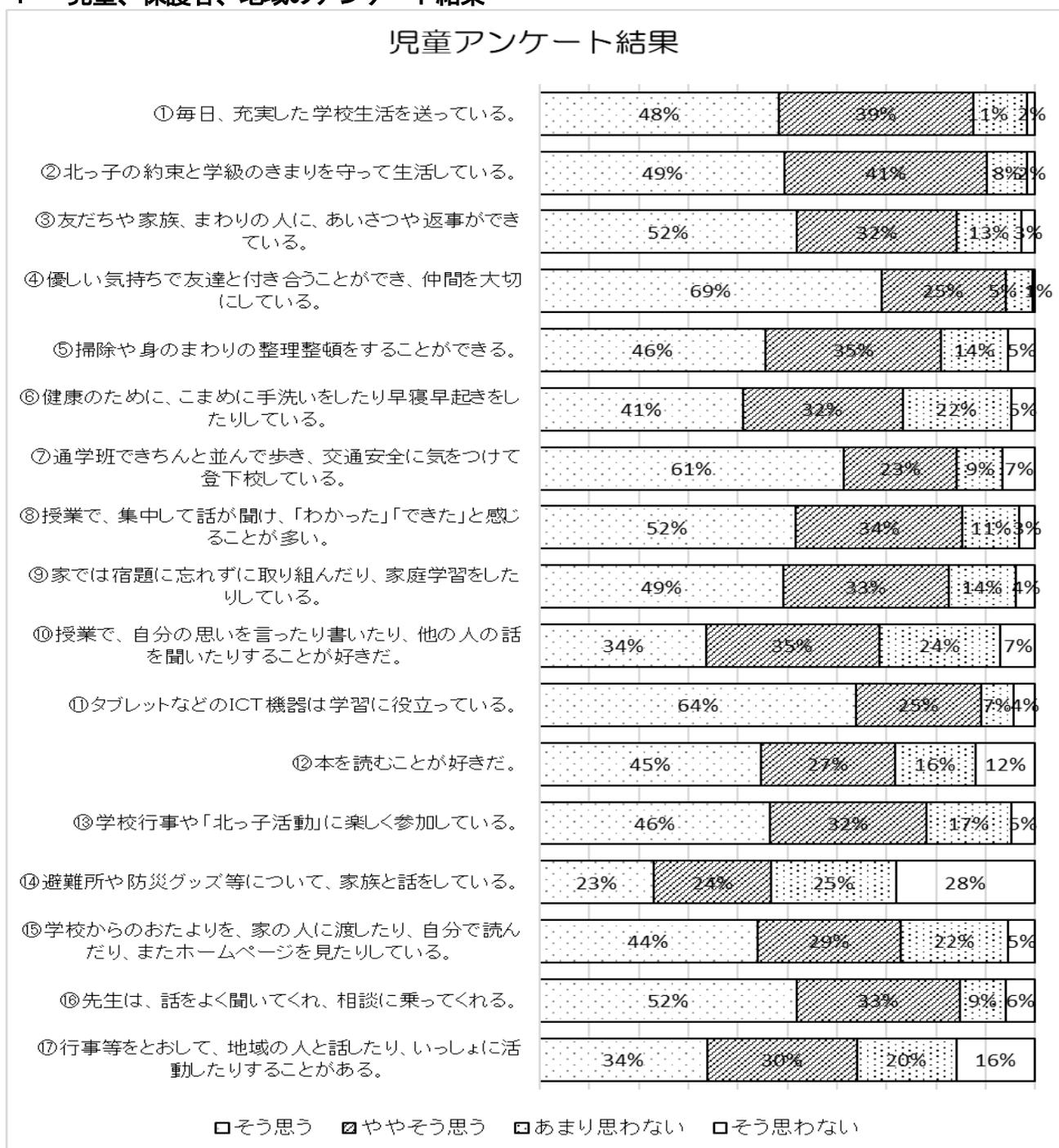


令和7年度「学校評価アンケート」

本校は、教育目標「心身ともに健康で、豊かな心と自己実現をめざす確かな力をもつ児童の育成」のもと「元気な子・心豊かな子・自ら学ぶ子」をめざす児童像としてかかげています。今年度は、「“優しさ”と明るい“声”があふれる学校」を合い言葉とし、生活面では「あいさつ」「返事」「歌声」があふれる学校をめざし学習面では、対話（話し合い）から考えを深めていく体験を多く取り入れ、学ぶことの楽しさを味わわせることを目標に教育活動を行ってきました。学校生活の充実を図り、地域や家庭の教育力を活かした教育活動ができているか学校評価としてのアンケートを実施し、その結果をまとめ、次年度の教育実践に向け、さらなる工夫・改善を行ってきたいと考えます。今年度は、児童、保護者に加え、学校運営協議会委員の皆様にもアンケートに答えてもらい、地域からの視点も、評価として取り入れました。保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様には、ご協力いただきありがとうございました。アンケートの集計結果を報告させていただきます。

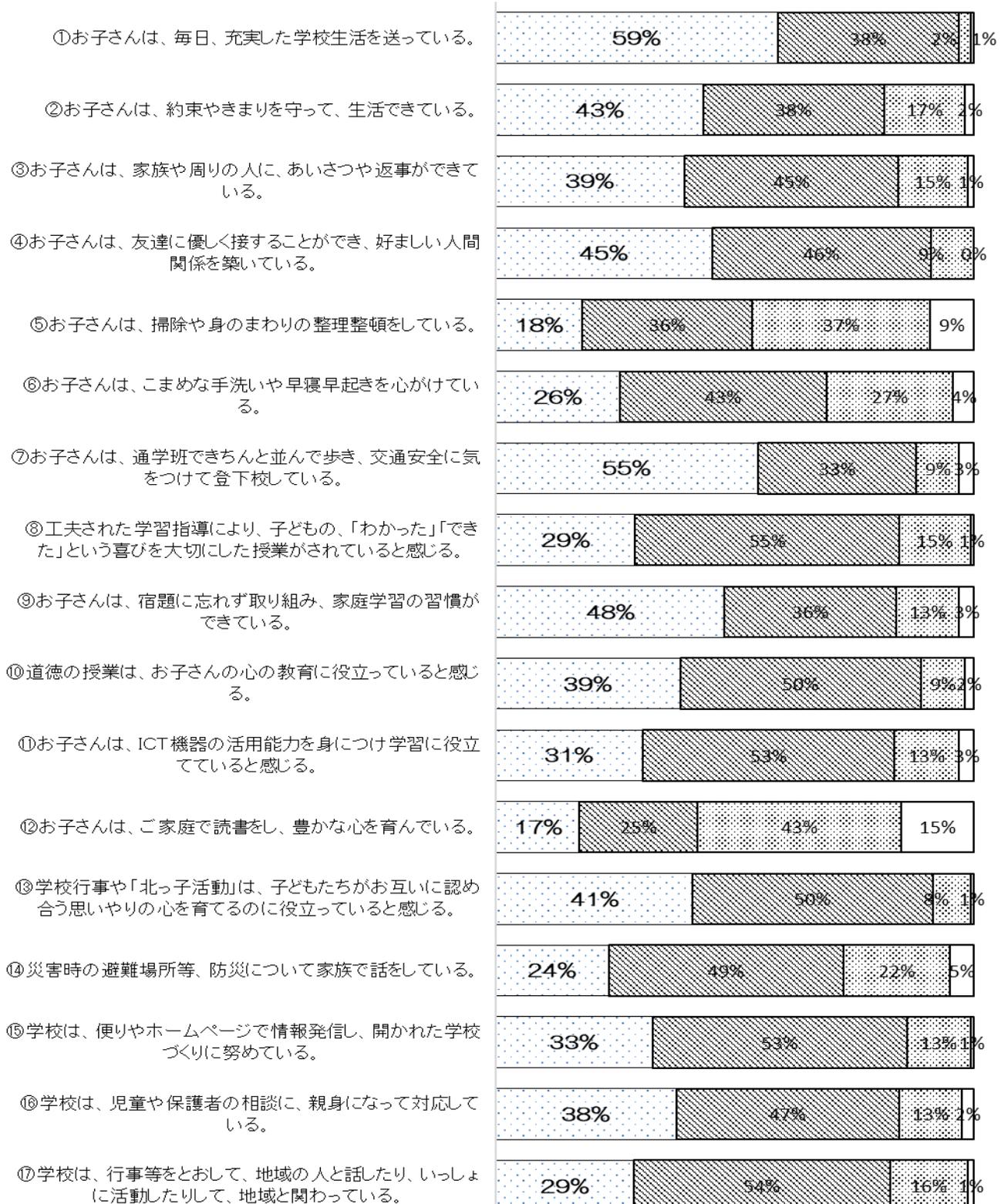
1 児童、保護者、地域のアンケート結果

児童アンケート結果



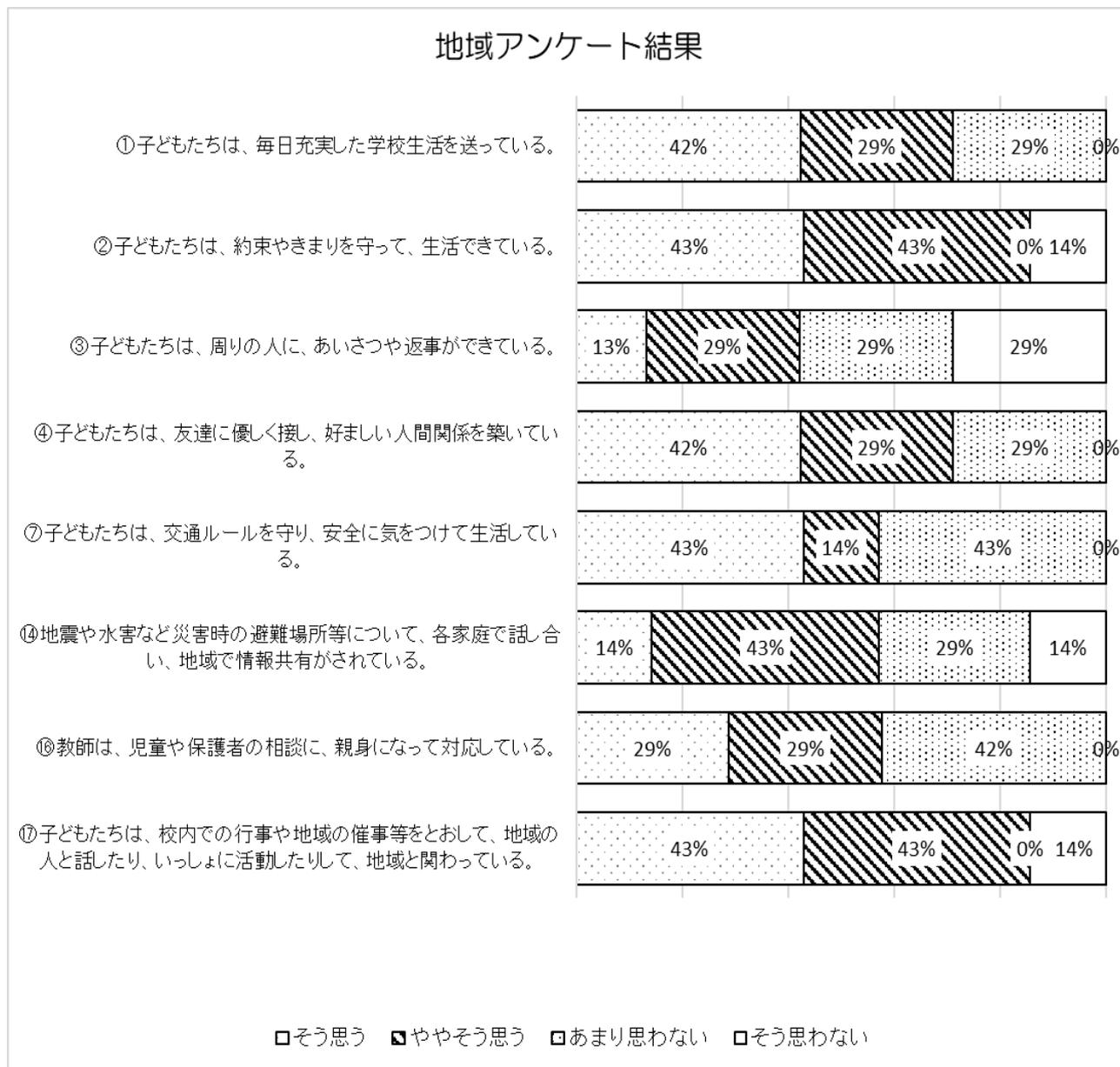
児童アンケート結果を見ると、「肯定的な回答」が、80%を超えたものが、17問中10問ありました。とりわけ「④優しい気持ちで友達と付き合うことができ、仲間を大切にしている」は94%、「⑩先生は、話をよく聞いてくれ、相談に乗ってくれる」は85%と高い数値となっています。児童は、担任を中心として温かい人間関係のもと学校生活を過ごしていることがうかがえます。昨年度と比較すると「③友だちや家族、まわりの人に、あいさつや返事ができている」は、80%から4ポイント増の84%、また「⑩行事等をとおして、地域の人と話したり、いっしょに活動したりすることがある」は、3ポイント増の64%でした。家庭での親子の絆や地域とのつながりを大切にできており、そういった周りとのつながりが学級においても生きていることを感じます。

保護者アンケート結果



□そう思う □ややそう思う □ややそう思わない □そう思わない

保護者アンケート結果を見ると、肯定的な回答が80%を超えたものは、17問中13問ありました。「①お子さんは、毎日、充実した学校生活を送っている」が97%、「④お子さんは、友達に優しく接することができ、好ましい人間関係を築いている」は91%と、特に高い数値となっています。また「⑭災害時の避難場所等、防災について家族で話している」は73%、「⑮学校は、便りやホームページで情報発信し、開かれた学校づくりに努めている」は86%と、昨年度と比べ、どちらも8ポイント増えています。いざというときの備えなど、家庭における防災への関心が高まっていること、また北小の教育活動に、保護者の皆様が関心をもっていることがうかがえます。



地域から見えている学校がどのようなものか、関係している設問を17問中8問にしぼり、アンケートに答えていただきました。地域アンケートの結果では、肯定的な回答が、80%を超えたものは8問中2問ありました。とりわけ「⑰子どもたちは、行事等とおして、地域の人と話したり、いっしょに活動したりして、地域と関わっている」は80%を超えており、北小の子どもたちは地域に支えられ、地域と関わってきたことがわかります。

2 考察とまとめ

今年度は、児童、保護者に加え、学校運営協議会委員の皆様にもアンケートに答えてもらい、地域からの視点も、評価として取り入れました。

結果を比較すると、⑭「防災」では、保護者は73%と比較的高い数値となっていますが、その一方、児童は47%、地域の同様の内容である「地震や水害など災害時の避難場所等について、各家庭で話し合い、地域で情報共有がされている」は57%とそれほど高い数値ではありませんでした。学校は「家庭防災の日」に、校内放送

等で防災について呼びかけています。また本年度は、市の危機管理課の方を講師として招き、5・6年生が防災学習として、避難場所でのテントや簡易トイレの使用方法を学びました。保護者の数値は昨年の65%から8ポイント増えており、いざという時の家庭での備えなど、防災への関心は年々高まっていることがうかがえます。今後も、地域とも連携して、防災学習をすすめていきたいと考えます。

⑩「学校の対応」は、児童、保護者ともに85%、地域の「教師は、児童や保護者の相談に、親身になって対応している」は58%という結果となりました。学校は、家庭や地域とともに、子どもを第一と考え、教育活動に邁進しています。地域の値がそれほど高くなかったことは、学校から地域への発信の足りなさ等が理由として考えられます。日頃から見守っていただいている地域の方からの声を受け止め、今後も、ともに子どもたちのために取り組む姿勢を大切にしたいと考えます。

⑪「地域との関わり」は、児童が64%である一方、保護者83%、地域86%という結果となりました。毎朝児童は、地域の方に見守られ、通学団で登校しています。また春の2・3年生の校区探検でも、校区をまわるときに付き添っていただいたり、地域の名所では由緒等を教えていただいたりしています。10月のクリーン大作戦では、地域の方とともに運動場の除草や石拾いをすることができました。児童は、日頃より地域の方に支えられている場面がたくさんあります。これらのつながりを大切にしていきたいと思えます。

今年度、「あいさつ」「返事」の明るい声があふれる学校をめざし、教育活動に取り組んできました。児童の「③あいさつや返事がしっかりできる」は4ポイント増の84%、保護者の「③お子さんは、あいさつや返事がしっかりできている」は昨年度より5ポイント増の84%という結果でした。この一年、明るい声があふれる学校をめざし、教育活動に取り組み、児童、保護者の皆様へも広がってきていると感じております。今後これからも、学校は合言葉のもと、継続して、徹底し取り組んでまいりたいと考えます。また、地域の皆様へも活動を発信し、ともに児童の健全育成に取り組むたいと思えます。

保護者の皆様か、「①お子さんは、毎日、充実した学校生活を送っている」という問いに対する概ね肯定的な回答が97%であったことは、とても嬉しい結果となりました。今後も、家庭・地域・学校が手を携え、地域や家庭の教育力を活かした教育活動ができるよう、ご家庭や地域の方々と連携をとりながら、「家庭・地域とともにある学校」を目指して教育活動に取り組み、多くの児童が充実した学校生活を送ることができるように努めてまいります。